

教え子をふたたび戦場に送らない

兵庫高教組新聞

2022年 5月7日 全職員版

神戸市中央区北長狭通5丁目2-10

兵庫県高等学校教職員組合 発行

TEL:(078)341-6745

E-mail:honbu@hyogo-kokyoso.com



高教組 fb 展開中



ひとりの願いをみんなの願いにして前進!

2022年度がスタートしました。高教組は働く者の権利を守り、子ども達の教育条件を向上させ、そして平和と民主教育を守るために、今年度も皆様の先頭に立って奮闘します。1年間よろしくお祈りします。職場で困ったことがあれば、すぐにご連絡ください。

執行委員長 小野泰司

5月1日 メーデー 県下各地で労働者が連帯 高教組も賃上げや教育の問題を訴えました



神戸みななどのもり公園
従業員組合から訴え



明石会場

4月の話題1 「発展的統合」

但馬の特別支援学校統合にストップ!

2月に突然発表された「豊岡聴覚特別支援学校と出石特別支援学校の発展的統合」、保護者や教職員にも何の相談もなくいきなりの発表で、「1年で統合準備せよ」と無茶苦茶な計画でした。高教組は保護者が中心となって結成された「子ども達の豊かな教育を守る会」の運動を全面的に応援し、見直しを求める署名運動をいっしょに展開しています。その運動の広がりによって、4月12日、県教委が「1年で統合」を撤回、当事者を交えた検討会議が作られることになりました。みんなの声で大きな山が動きました!運動はまだこれから。署名をさらに集めて、障害児教育を守る声を大きくあげていきましょう。



フレッシュマン

赤松弘基 新書記長に聞く



教えて!

■おはようございます。はじめに、今年度書記長になっての思いを聞かせてください。

17年働いてきた現場を離れるのは非常に寂しくも思いましたが、誰かがしなければならぬ仕事なら自分やってみようと思ひ、専従書記長の任を引き受けることにしました。これは組合活動自体にも言えることで、「誰かがしなければならぬ仕事(賃金や権利に関わる交渉などの組合活動)」を見て見ぬふりして誰かにお任せで過ごすことは格好悪いな、どうせ教員として過ごすのであれば、大人の姿勢として格好い方を選びたいなと思っております。

■学校現場は多忙化が進んでおり、教員未配置や教員不足も深刻です。解決していきたいですね。

現場の多忙化は、職員の健康と安全、また「教育とは何か、目の前の子どもたちをどのような大人に育てたいのか、どんな社会を作っていきたいのか」と考え

る余裕を奪い、業務量の負担の大小や偏り、押しつけ合いによって職員間の分断を招きかねません。

未配置にしても教員不足が根本の原因です。教員免許更新制のような馬鹿げた施策や、職場環境のブラックさが明るみになることによって、社会的にはもはや教員が魅力的な職業と認知されなくなっています。大学の教職課程でも受講者がピーク時の半分まで減ったと大学の先生も嘆いていました。

■高校や特別支援学校で統廃合の計画が発表されました。高教組としてどんな考えをお持ちですか?

学校とは、施設や土地そのものだけではなく、そこで培われてきた伝統や文化、歴史も含めた地域の大切な社会的共通資本です。懸念していることが3つあります。一つは学区拡大による遠距離通学や地域の学校の統廃合で地元のお祭りなどの伝統文化やコミュニティは確実に衰退すること。学校に協力的な地域の人たちの活動や交流の場も

(■は編集部)

なくなっていくでしょう。二つ目は少人数学級導入がますます遠のくことです。少人数学級によるゆきとどいた教育だけでなく、働く視点から考えても教員の増員とそれに伴う業務負担減などの実現が困難になるでしょう。三つ目は跡地利用の問題です。これは僕の個人的な予測ですが、民間企業に安く買いたたかれるんじゃないですか。土地も施設も市民の大事な税金で賄われている我々の財産です。大阪の維新政治のように、それを民間に安売りするような方向に行くのではと危惧しています。

■最後に今年度の抱負を教えてください。
ご自身の個人的な願いなども(笑)

まずはやはり仲間を増やすことです。組合員が多ければ多いほど職場での問題や社会的な課題を同僚性の中で共有し、解決していけると確信しています。だから、誇りを持って教員を続けていくために、あるいは自信を持って教員に教員の魅力を伝えていくために、労組への加入を呼びかけたいですね。社会的責任も大きな教員が自らの労働条件に関わる問題を人任せに見て見ぬふりするのって格好悪くありません？一緒にやりませんか？

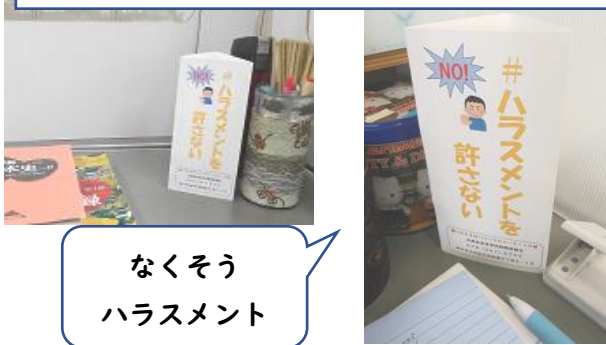
個人的な願いは完全デスクワークにしたいので、健康に気を配っていきなさいと思います(笑)趣味というか意地というか、雨の日以外は毎日3.5km走ってますが、四月末で720回を超えました。今年度中には1000回を目指します！

(ありがとうございました)

.....*.....*.....*.....*.....*.....*.....*.....*.....*

「人権を大切に」フットルー

ハラスメント撲滅三角柱運動展開中



なくそう
ハラスメント

「平和を大切に」ひとことルー

ロシアの侵略を止めたい。民主主義対専制守備という価値観ではなく、「国連憲章を守れ」の一点で、全世界が団結しよう。危機に乗じて「反撃能力を持つ」なんて、そんなことしたら本当に東京に向けてICBMがセットされるのでは・・・それでいいの？



「やられたら」の議論でなく、そんな事態にならないように外交努力が必要なのではないの？

但馬の特別支援学校教員

元町でスタンディング

5月3日 9条壊すな！憲法集会 金平茂紀さんのお話を聞いて

突き抜けるような青空の下、改憲許さないの思いを束ねる、そんな憲法集会が神戸で開かれました。

ロシア軍によるウクライナ侵攻の翌日、ウクライナ入れされたジャーナリストの金平さんは、その惨状を目にして、世界で最も先進的な日本国憲法を何としても守らなければの思いを強くしたと述べられました。その上で、憲法9条を守る幹は「殺すな」ということだと強調され、私たち一人ひとりの日頃からの取り組みこそが大切だと訴えられました。

戦争だけは絶対に許さない、その思いを参加者全員で確認しあえた憲法集会でした。



臨時講師の先生を応援！

高教組主催 採用を目指す学習会 次の開催予定

6月18日(土) 姫路労働会館

午前: 組合員限定 集団面接テーマ徹底解説講座

午後: 誰でも参加できる集団面接練習

7月2日、31日にも予定しています。詳細は高教組 Facebook にて公開中

著者、逢坂冬馬の文献調査と熱量によって昇華された本作品。あなたもきつと撃たれるであろう。「お前は どう生きるのか」と。

ロシアがウクライナへ侵攻してヶ月が経つ。市民の生活破壊に凄惨極まる人道被害、プーチン大統領は今後も国際社会から厳しく非難されて然るべきだ。『同志少女よ、敵を撃て』―独ソ戦を舞台とした本書では「戦争とは何か」「人間とは何か」という根源的な問いを、少女セラフィマと仲間たち、赤軍女性兵士イリーナの半生を描くことで浮き彫りとする。モスクワ近郊の農村で暮らしていたセラフィマの日常は、1942年、戦争が激化する中で突如奪われた。ドイツ軍によって(目の前で)母を殺され、イリーナによって母を焼き払われたセラフィマの心に残るのは「復讐心」だけである。「戦いたいのか、死にたいのか」選択を迫られたセラフィマは、イリーナが教官を務める訓練学校で一流の狙撃兵になることを誓う。そこで見えてきた戦争の本質。撃って撃って撃ちまくる彼女たちが目にするものとは・・・



読んでみて！
おススメ本

東播の高校教員

みんなのための組合だからみんなで支える 加入をお待ちしています



HPからも
仮加入できます